

従業者向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	○工夫していると思う点 ●改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	60%	40%	●利用者の人数が多いときは適切とは言えない。(2) ○台所も指導（支援）訓練室に加えている。(2)
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	70%	30%	●スタッフの数が足りない。増えれば良い。(5) ○欠員があればお互いにかバーしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80%	20%	●完全バリアフリー可はされていない。 ●車イス利用者の受入れは難しい。 ・肢体不自由児は想定していない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	90%	10%	○毎日清掃と消毒を行っている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	90%	10%	○パニック時や嘔吐があれば部屋を分けている。 ○2階の部屋も利用。
業務改善	6 行う改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している。	100%	0%	○全体会議や研修を通して行われている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	○毎日の申し送りや全体会議を通じて行われている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/	●受けた方が良いと思うが、金額が高い。 ○外部評価は行われていないが、保護者向け従業者向けの評価表の結果を公表している。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	80%	20%	○外部研修があれば参加している。 ○内部研修は年間計画に基づいて行っている。 ○徐々に進めている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	90%	10%	●公表されているが、知られていない？ ○HPで公表されている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	○毎年アセスメントを更新し、個別支援計画を作成している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	○全体会議の中でカンファレンスを行って反映させている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	○面談があれば全体会議で報告している。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	90%	10%	○特に標準化はされていないが、気づきシートを記入し、客観的な傾向と気付きを共有している。(2)
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	●地域支援・連携は今後の課題だと感じている。 ○R6の法改正に合わせて5領域に沿った計画を立てている。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	●全体会議や申し送りで職員間で決定している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	90%	10%	○過去の活動を参考にしながら、できるだけマンネリ化しないようにしている。 ○新しいプログラムも組んでいきたい。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	○15時～おやつと個別活動、16時～集団活動を組み合わせている。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	60%	40%	○長期休み期間は打合せができない為、ノートやラインで申し送りしている。(4) ○申し送りの時間を設けている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	40%	60%	●打ち合わせはない。 ○ラインやノートで共通理解を図っている。(4) ○次の日に行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	○徹底まではいかないが行っている。 ○気づきシートを記入している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	○毎年4月にモニタリングし、モニタリングノートを更新している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	90%	10%	●お祭り参加以外の地域交流の活動はなかなか行えない。 ○身の周りのことはできるだけ自分でいい、活動には工作やダンス、地域のお祭り等に参加している。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	○自己決定ができなければ、選択肢を与えている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	○児発管、管理職が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	●主治医、協力機関とは連携が難しい。 ○社協と連携し、会議にも参加している。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	●とれていない学校もある。 ○下校時刻の伝達が難しい場合は個別に対応を行っている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	○相談員さんから利用開始前に情報を提供してもらったり、サービス担当者会議があれば参加している。 ●母や相談員さんからの情報のみになっている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	90%	10%	○卒業移行支援会議があれば出席または書面提出で、共有につとめている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	90%	10%	○研修があれば参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	●児童クラブや児童館での交流はなかなかできない。 ○交流はないが、地域のお祭りに参加している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	90%	10%	○研修やネットワーク会があれば参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	○毎回の申し送りや連絡ノート、面談を通じて共有している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	○茶話会は行った。(2) ○研修・情報提供は今後行っていきたい。(2) ○OG,OBの保護者の体験談などを聞ける交流会を計画していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	○契約時に行っている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	○できる限り保護者の意向をふまえている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	○面談で説明し、署名してもらっている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	○毎回の申し送りや連絡ノート、面談を行って対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	○保護者会（茶話会）は行っている。(2)
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	○責任者がすぐに対応するようにしている。 ○大きな苦情につながる前に申し送り時に対処している。

非常時等の対応	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	○R7.11月に公式LINEを開設。R8.4月より保護者に発信予定。 ○毎月1回通信を発行している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%	○事業所の行事に地域住民の参加はないが、地域のお祭りには参加している。(2)
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	○全てマニュアル化されている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	○研修の中に組み込まれている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	○保護者様に情報の共有をお願いしている。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	○保護者様に情報の共有をお願いしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	○R7.9月長机に保護カバーを設置した。 ○安全計画の5つは研修で行い、残りの1つは防災訓練として活動の中で行われている。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	○保護者会で説明したり毎月の通信にて報告している。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	○委員会にまとめられている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	○指針を確認し、研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	○研修を行っている。現在身体拘束に該当する利用者がいない。 ○対象者なし。	

令和7年度 評価平均	はい	いいえ
	89%	11%

(項目別の評価)

環境・体制整備	78%	22%
業務改善	95%	5%
適切な支援の提供	91%	9%
関係機関や保護者との連携	81%	19%
保護者への説明責任等	90%	10%
非常時の対応	100%	0%